

証券市場新聞

1 第151号

日経平均株価

2万2532円08銭

▼126円08銭(前日比)

TOPIX

1692.85

▼11.79(前日比)

2018
10/22
月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6C

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



輸出系の上ブレあるか？

第2四半期決算発表本格化へ

2月期決算企業の発表が一巡して、10月下旬からは3月期企業の第2四半期(4~9月)決算発表が本格化する。第1四半期は好調な内容が数多く見られたが、国内では相次ぐ災害、海外では米中貿易摩擦などによる影響が懸念される。主要指数も急騰から一変して急落に転じるなど値動きが激しいことも企業や消費者の心理に影響するかも知れないが、現状の為替レートは企業予想から未だ円安水準で、好調な内容が再度確認されれば輸出系は見直されるだろう。

為替レートは予想より円安

半期決算で好内容に

10月4日に1ドル114円54銭を付けた後に112円前後まで急速に円高

が進行したが、11月1日前半で推移していた7月下旬に比べれば未だ円安水準だ。



米中貿易摩擦の影響も決算内容に影響を与えそうだが、米中貿易摩擦が第1四半期決算当時より激化している懸念はあるものの、国内の経済状況が大きく変化してはいる。第2四

半導体や自動車などに絡む設備投資では2月決算企業で先に発表した安川電機(6506)が参考になりそう。半導体需要や中国市場の減速を受けて通期予想を下方修正、これを受けて株価も大幅な調整を余儀なくされた。ただ、ACサ

ーボは18年後半に向けて半導体向けなどは回復に向かうと見ており、好調な業績には変わりない。今後発表が予定されている主要企業については中国向けの動向などによって評価が変わるかも知れないが、過剰反応で下落するなら押し目買いの好機になりそう。その中でも注目されるのは23日発表の本電産(659)の第1四半

日経平均日足チャート

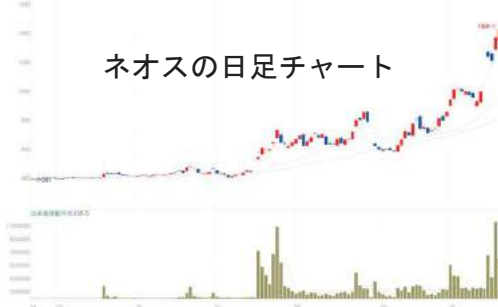


期決算発表時には通期予想を上方修正し、その後は材料出尽くしで株価は下落した。想定平均為替レートについては従来どおり、対1ドル100円から変更しておらず、再上方修正となれば売られ過ぎ修正がありそう。年末のクリスマス商戦に向けては30日発表に任天堂(7974)も注目される。トレンドスイッチは低価格の版の投入も予想されており、決算内容以外の材料も期待したい。

ネオスはS高

リユース好調で大幅増額

週明け15日、ネオス(3627)がストップ高。19年2月期の連結業績予想について、売



高を64億円から72億円(前期比45.6%増)へ、営業損益を5000万円から4億円(前期3億2300万円の赤字)へ、最終損益を3000万円の黒字から4億円の黒字

今週の動意銘柄

(同6億4600万円)の赤字)へ上方修正した。ネットサービスを支援ソリューション事業と連結子会社化したジェネシスホールディングスのデバイス事業が好調に推移した。

自動車は為替条項

15日、トヨタ自動車(7203)やホンダ(7267)

など自動車株が総じて安い。ムニオン米財務長官が通商協議で、通貨安誘導を防ぐための為替条項を日本を含むあらゆる国に求める意向を示したことを伝わったことで、輸出採算の悪化を懸念した売りに押された。為替が112円台へ円高が進んだことも買いを手控えさせた。

NTT都市開発はTOB

16日、NTT都市開発(8933)がストップ高。15日の取引終了後、NTT(9432)がNTT都市開発の完全子会社化を目指して1株1680円でTOB(公開買い付け)すると発表、TOB価格にサヤ寄せする動き。同社もTOBに賛同の意見を表明しており、公開買い付けとその後の一連の手続きを経て、上

場廃止になる予定。

ヨシムラフード安値

16日、ヨシムラフード・ホールディングス(2884)が続落、年初来安値を更新した。19年2月期の連結業績予想の修正を発表。売上高を232億7800万円から239億5400万円(前期比19.6%増)へ、営業利益を5億55

公開価格の2.4倍

イーソルの初値

15日、前週末に東証マザーズ市場に新規上場したイーソル(420)が公開価格1680円の2.4倍となる4000円で初値が生まれた。同社は組み込み機器向けのOS開発、組込みソフトウェアの受託開発などを行う。

正直いいさんの株で大判小判

19日の東京市場は続落となりました。金利上昇への警戒感から米国株が大幅に下落した流れを引き継ぎ、主力株を中心に売りが広がりました。ただ、上海株指数が戻りが広がり、円高に歯止めがかかってきたことから、440円超に下げ幅を広げた後、急速に下げ渋つての荒い展開ですが、10月16日5先物の2月に推移し、19日にSQを通過し給面でも落ち着きを取り戻す。銘柄ではソースネクスト(4344)が週末も新値で、緩んだところを狙いたいと思います。短期値幅取り候補では上振れ観測のインテリウ(4847)を追撃、共同PR(2436)も打診買い。2Qの状況を確認しながら、好業績銘柄を物色。 花咲翁

下値は固まってくる



ノジマ2Q上方修正

17日、ノジマ(7419)が大反発。19年3月期第2四半期累計の連結業績予想について、売上高を2418億円から2450億円(前年同期比4.6%増)へ、営業

利益を73億円(同23.2%増)へ上方修正した。昨年グループ入りした子会社ニフティとのシナジーに加え、猛暑の影響でエアコンなどが好調に推移している。

KYBがストツプ安

免震装置不正発覚で投売り

17日、KYB(7242)がストツプ安。建築物用免震・制振用オイルダンパーの検査工程などにおける不適切行為を公表したことを嫌気した投げ売りが出た。子会社のカヤバシステムマシナリーが製造販売し、出荷していた免震・制振用オイルダンパーの一部について、性能検査

記録データの書き換え行為により、大臣認定の性能評価基準に適合していない、または、顧客の基準値を外れた製品を建築物に取り付けていた事実が判明した。

田淵電は支援契約

17日、田淵電機(6624)がストツプ高。ダイヤモンドエレクトリックホ

ールディングス(699)グループのダイヤモンド電機とスポンサー支援契約を結んだと発表した。

ダイヤモンド電機に第三者割当増資を実施し、手取概算金29億8950万円を調達。構造改革資金

に13億円、設備投資資金に8億5000万円、運転資金に8億3950万円を充当する。

ニチダイ今期上方修正

18日、ニチダイ(6467)がストツプ高。19年3月期の連結業績予想について、売上高を157億円から162億2000万円(前期比6.4%増)へ、営業利益を9億600万円から11億

7300万円(同5.4%増)へ上方修正した。ネットシエイプの金型部門の主要ユーザーが堅調に推移していることに加え、精密鍛造品部門のカーエアコン用スクロール鍛造品の売上高が計画を上回って推移している。

公開価格46%上回る

18日、プリントネット(7805)が、市場に新規公開価格1400円を付けた。1円で初値をつけた。インターネットを用いた印刷物の受注販売を手掛ける。

キリン堂HDは優待

18日、キリン堂ホールディングス(3194)が続伸。株主優待制度の新設を発表した。毎年2月末の株主を対象に1年以上保有の株主を対象にキリン堂グループ店舗で利用できる「お買物券」やキリン堂公式通販サイトを贈呈する。

ヤマダ電大幅減額

週末19日、ヤマダ電機(9831)が急落、年初来安値を更新した。19年3月期の連結業績予想について、営業利益を721億円から294億2000万円(前期比24.2%減)へ大幅減額。在庫適正化による仕入絶対額の減少とセルアウト見直しなどで売上総利益へのマイナス影響が発生している。

公開価格70%上回る

19日、ギフト(9279)が東証マザーズ市場に新規上場、公開価格2090円を70.3%上回った。横濱系ラフメンの国内、海外直営店運営、プロデュース店への食材提供やノウハウを供与。

24日、変化日到来

最初に先週の当欄で、9月安値の2万2712円を割り込むと月足陰線包み足になると解説しましたが、終値ベースでローソク足を描きまので、2万2307円を割り込んだら確定ということになります。お詫びして訂正します。

そして先週の日経平均はそれを割り込んできており、正念場ということになります。下髭を引く形で月末大きく戻せばやり過ぎですが、そうでないと年末高はないとせねばなりません。

今週は日柄変化日が到来します。9月7日安値から10月2日高値までは営業日数で16日。その対等日柄が今週24日です。となると、今週突っ込んだら目を瞑って買いの手を振るところです。

ただし、中期的な天井を打った可能性があるので、あくまでも短期張りということであり、嘖き値では機敏に利食いしていかなければなりません。

日々勇太郎



ニチダイの日足チャート



今週の動意銘柄

チャートから読む 騰落銘柄

セブン銀行(8410)



10月12日に9月12日322円以来の安値となる329円まで調整し、25日と50日線近辺まで戻し、9月下旬の高値水準である350円までの戻りはありそう。ローソン銀との比較で同社の優位性再認識。

技研製作所(6289)



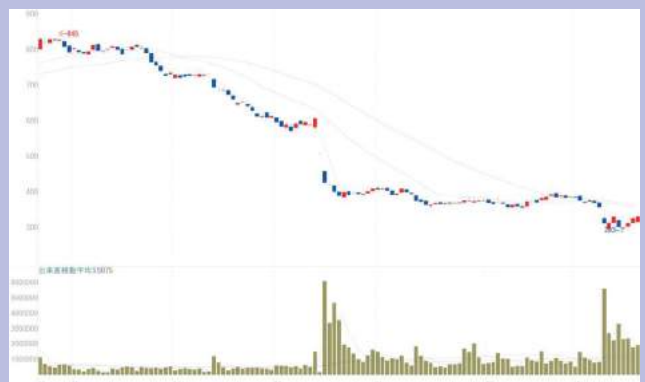
日足に続いて週足も陽転、大勢上昇トレンドを確認し急上昇が続く。好業績で需給も良好。上値抵抗ゾーンの3000~3500円を一気に上抜き、鋭角的に上昇してくる5日線を下値支持に一段高へ。

小野薬品工業(4528)



ノーベル医学生理学賞効果でに3430円の新値更新後、下落基調が続く。50日線割れ後も下げ止まらなると7月31日の2594円や7月3日の安値2492円が視野に入る。448万株の買い残も重石。

IDOM(7599)



今2月期下方修正を嫌気、急落のあとも底練りが続く。週足と月足が揃って陰転し、一段安回避へ正念場。まずは急降下してきた5日線を明確に上回れるかが焦点だが、13週線などの下降角度も鋭角的に。

※チャートは日足

潮流

インフレは加速しない

元凶はヘッジFの「45日ルール」

marKet / bAnk

の脅威はFRBだ。利上げのペースが速すぎる」と述べ、不満を表明した。また、物価が急上昇する可能性が「非常に低い」との見方を示し、利上げを急ぐ必要はないとの考えをにじませた。

利上げによって住宅ローンや企業がお金を借りる際の金利が上がって景気が減速することに懸念を示し、利上げは「好ましくない」と指摘した。ただ、「FRBは独立しており、誰かを非難する考えはない」とも述べ、金融政策に直接、介入する考えはないとの姿勢も強調した。

トランプ大統領の言っていることは間違っていない。米国の失業率が3.7%と1960年代以来の低水準となったことで、インフレが加速するのではないかといった危惧が市場で強まった。これがきっかけで、米長期金利が上昇し世界的な株価暴落を招いた。警戒が強まった背景にはPPI(生産者物価指数)が強かったことにあるが、本来はあまり注目されないインフレ率が材料視された。

9月の同指数は前月比△0.4%と今年1月以来の伸びとなり、前年同月比では△2.9%だった。一方、注目度の高いエネルギーと食品を除

くPPIコアは、前月比△0.2%、前年同月比△2.5%で市場予想に一致していた。つまり、インフレは加速していない。失業率が歴史的な低水準となる中でインフレが加速し、FRBの利上げペースが加速

するといったシナリオを正当化するために、無理やり注目度の低い指標を持ち出したように見える。

今回の株価急落を引き起こしたのはヘッジファンドだ。11月にヘッジファンドを解約するための「45日ルール」に基づけば最終通告は10月17日である。この日を過ぎれば売り圧力は弱まるのが考えられる。日経平均は10月15日に2万2271円まで売られたが、17日には2万2959円まで戻した。200日移動平均を大きく上回って終えた。前回の米中間選挙のあった2014年の日経平均は年初から大きく下落したが10月17日に底打ちし、年末にかけて20%超上昇した。結局、年初から12%高となった。2014年の動きを今年に当てはめると12月に2万6000円超となる。

潮流銘柄はインテリジェントウェーブ(4847)、ビリングシステム(3623)、アクリート(4395)。

約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは15.5%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp



岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

14年は年末にかけて20%上昇

インテリジェントWの日足チャート



内需好決算銘柄を物色

高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

10月第3週の週明けは引き続き波乱の動きになりましたが、日経平均は2万2172円の9月7日の安値を割り込まずに終

えたことでは16日から戻す動きになり、先物主導で一段高となり17日には一時2万2900円台を回復していましたが、この動きにより当面、大きな下落は避けられそうです。今回の下落によって上げ相場のリズムは壊されたとみなければなりません。当面、日経平均は2万2500~2万3000円のボックス相場圏での推移となり、その後、

日経平均はボックス圏か?

改めて上値を窺う展開になると思われます。物色の方向性としては第四半期決算発表シーズンを迎えて、好決算銘柄を個別物色ということになりますが、5月以降に日経平均が内需系買い、外需系売りのパターンでもみ合い状態が続いていましたので、過度な円安一服で、今回はそれに反することになりそうです。ローソン(2651)は銀行業務を開業して新しい展開がみられることになりました。全国の店舗を中心に全国1万3000カ所にATMを武器に地域銀行の受け皿を目指します。ドンキホーテホールディングス(7532)とユニー・ファミリアートホールディングス(8028)の株価が先行していますが、それを追う展開に期待できそうです。

双日(2768)は先に伊藤忠商事(8001)が増額したように大手商社の好業績が続いています。地味な動きが続いているものの、上値追い展開を見込めそうです。アイフル(8515)、日本冶金工業(5480)は好決算見通しで水準訂正が徐々に進むでしょう。アンジェス(4563)は底入れ以後、着実に上値を追っています。年末まで日本初の遺伝子治療薬が認可される見通しであり、これから上値追い加速の可能性を秘めています。ヨータイ(5357)は中国子会社が中国の鉄鋼の電炉投資の積極化で耐火煉瓦の需要急増、好決算期待で注目。



高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式情報(れど)ジャーナル
<https://marketpress.jp/kabu-takano/>
毎日情報を配信中!

今週の

活躍期待銘柄



串カツ田中HD(3547)

第3四半期好調で見直しへ

ス(3547)は短期的な調
整となっていたが、3000
円トビ台で下げ止まる動きと
なっている。貸借倍率0.7
9倍で需給も良好、全般主力
銘柄の買いが一巡すれば、好
業績の内需銘柄として見直さ
れることを期待したい。

串カツ田中ホールディング
ス(3547)は短期的な調
整となっていたが、3000
円トビ台で下げ止まる動きと
なっている。貸借倍率0.7
9倍で需給も良好、全般主力
銘柄の買いが一巡すれば、好
業績の内需銘柄として見直さ
れることを期待したい。

既存店も10月以降は回復へ



ソースネクスト(4344)

「ポケットクW」引き合い殺到

ソースネクスト(4344)
は保ち合いを上放れ、株式分
割を考慮した青天井を一段高
に向ってきた。通訳デバイス
の次世代機「ポケットクW」
へ引き合い殺到、収益上振れ
観測がいよいよ強まっている。
ポケットク初代モデルは発
表後11日間で初回生産台数
を完売したが、新モデルの反
響はそれを上回る。世界74
言語に対応、4Gで翻訳速度
も向上させたことから商店街
やJ1サッカークラブのコミ
ュニケーションツール、ハイ
ヤーや化粧品メーカーの
接客ツール、国際映画祭
のオフイシャル通訳機の
ほか、米b8t aニュー

ソースネクスト(4344)
は保ち合いを上放れ、株式分
割を考慮した青天井を一段高
に向ってきた。通訳デバイス
の次世代機「ポケットクW」
へ引き合い殺到、収益上振れ
観測がいよいよ強まっている。
ポケットク初代モデルは発
表後11日間で初回生産台数
を完売したが、新モデルの反
響はそれを上回る。世界74
言語に対応、4Gで翻訳速度
も向上させたことから商店街
やJ1サッカークラブのコミ
ュニケーションツール、ハイ
ヤーや化粧品メーカーの
接客ツール、国際映画祭
のオフイシャル通訳機の
ほか、米b8t aニュー

新株予約権の行使ほぼ完了

高らかに、暮らそう。

実面積の広さを超える、心地よい広がり求めて。
xevoΣは、業界最高水準の天井高2m72cmを誇る
かつてない大空間を実現しました。

そして今、もっと豊かな大空間をめざして。

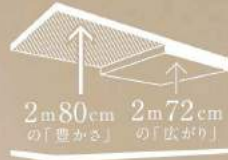
天井高2m80cmという、さらなる高さを手に入れました。

一つ上へと進化を遂げた、xevoΣ。

住まう人の暮らしを、ゆとりある高みへと導きます。

広がり、そしてその先の豊かさへ。

【xevoΣの進化した天井高】



xevoΣ
【ジーヴォシグマ】

For Nature
Daiwa House Synthetic Flooring

家、そして近未来をつくる。



TOKYO 2020
OLYMPIC GAMES



Daiwa House



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京2020オフィシャル施設建設&住宅開発パートナー

大和ハウス工業株式会社〈戸建住宅〉

東京本社 住宅事業推進部 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112

Tel 03-5214-2172 Fax 03-5214-2176

本社 住宅事業推進部 大阪市北区梅田3丁目3番5号 〒530-8241

Tel 06-6342-1300 Fax 06-6342-1593

www.daiwahouse.co.jp ☎0120-590-956 受付時間：9:00～21:00(年末年始 除く)

星野三太郎の株街往来

～後継者不足～

9月の

台風21号の影響で大阪府内にあるおよそ400軒の銭湯のうち70%余りで、煙突が折れるなどの被害が出たそうだ。銭湯経営者の多くは高齢で後継者不足であることから、再建せずにそのまま廃業を考える方が多いという。

筆者は中学生時代、風呂がないアパート住まいだったことから、近所の銭湯には大変お世話になった。今の時代、風呂付の住まいが当たり前と言われているし、広い公衆浴場でくつろぎたい方も少なくないだろう。子供の頃、生活の一部だった銭湯が消えていくことに残念で仕方がないが、なんとか1件でも再建できることを願うばかりだ。

後継者不足は業界を問わず様々なところで深刻化している。高校時代の同級生は、病気で父親の中華店を継げなくなったりして、廃業を決めてしまった。大手が真似できない技術を有していても人材不足から廃業を決める中小企業も多い。法務省は外国人受け入れ拡大へ向けて新在留資格の制定に動きだしているが、抜本的な解決にはならないだろう。

首都圏にだけ人口が集中する状況を改善するなど様々な対策が必要だ。



New product

江崎グリコ ファーストキッチンとコラボ 「アーモンド効果」期間限定メニュー



期間限定メニュー

江崎グリコ(2016)の「アーモンド効果」が、ファーストキッチンとのコラボメニューに採用され、全国の「ファーストキッチン」「ウェンディーズ・ファーストキッチン」126店舗で、「アーモンドロール」と「石窯スープパン<3種チーズときのこのポタージュ>」の2品が、期間限定で順次発売された。

「アーモンドロール」は、パン生地に「アーモンド効果」を練り込み、しっとりと焼きあげた。「石窯スープパン<3種チーズときのこのポタージュ>」は、香ばしい石窯パンをくりぬいた器に、「3種のチーズ」・「きのこ」・「アーモンド効果」入りのポタージュを詰めている。

英語自動放送装置を納入

TOA

JR東海各駅へインバウンド対策

TOA(6809)はJR東海(9022)に、在来線の駅や車内において訪日外国人利用者の利便性向上のための英語自動放送装置を納入した。今回導入されたシステムは、訪日外国人に対して簡単、かつ正確に情報を伝達することを目的としたもの。駅係員が使用するタブレット端末に搭載したアプリを操作して、日本語、または英語による案内放送を行う。アプリで表示される情報は日本語表記のため、英語放送を利用できる場合も、誰でも簡単に利用できる。

システムが導入される駅は東海道本線の名古屋駅や浜松駅、中央本線の木曽福島駅、高山本線の高山駅など、全12駅。案内内容は、外国人旅客の多い高山駅等での実証実験を経て検討する。あらかじめ登録した定型文をベースに、状況に合わせて文章や時間、駅名、状況、理由などをタッチ操作で組み合わせる。列車の発車・到着案内はもちろん、列車の遅延・運休、振替輸送などの障害時の案内や、注意喚起、地震発生時の避難誘導など緊急性の高い案内も可能になっている。

企業レター

リスクパリティ取引

テクニカルは「売られ過ぎ」

ハチロクの裏話

敏腕先物トレーラー

その動きに合わせ、それぞれの組み入れ

先週の日は、前週平均より約700円戻したが、後半再び売込まれ、昨日には安値を付ける状況であった。日々動きを見ても一日の値幅が約400円位動くボラティリティの高い相場展開であった。

この背景にはリスクパリティを手法とする資金が影響しているといわれている。リスクパリティとはポートフォリオに占める各資産のリスクの割合を均等にすることで、リスクを軽減させる運用方法である。これは株式や債券、コモディティなど異なる資産の保有株式リスクを揃えるため、各市場のボラティリティ

先週の日は、前週平均より約700円戻したが、後半再び売込まれ、昨日には安値を付ける状況であった。日々動きを見ても一日の値幅が約400円位動くボラティリティの高い相場展開であった。

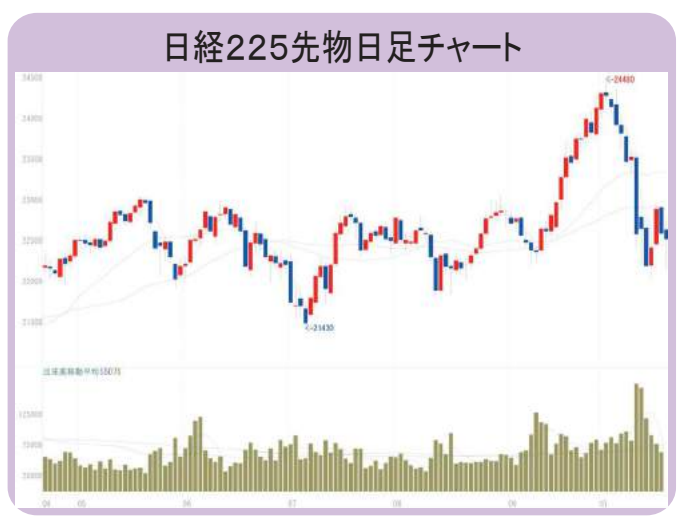
この背景にはリスクパリティを手法とする資金が影響しているといわれている。リスクパリティとはポートフォリオに占める各資産のリスクの割合を均等にすることで、リスクを軽減させる運用方法である。これは株式や債券、コモディティなど異なる資産の保有株式リスクを揃えるため、各市場のボラティリティ

先週の日は、前週平均より約700円戻したが、後半再び売込まれ、昨日には安値を付ける状況であった。日々動きを見ても一日の値幅が約400円位動くボラティリティの高い相場展開であった。

この背景にはリスクパリティを手法とする資金が影響しているといわれている。リスクパリティとはポートフォリオに占める各資産のリスクの割合を均等にすることで、リスクを軽減させる運用方法である。これは株式や債券、コモディティなど異なる資産の保有株式リスクを揃えるため、各市場のボラティリティ

先週の日は、前週平均より約700円戻したが、後半再び売込まれ、昨日には安値を付ける状況であった。日々動きを見ても一日の値幅が約400円位動くボラティリティの高い相場展開であった。

この背景にはリスクパリティを手法とする資金が影響しているといわれている。リスクパリティとはポートフォリオに占める各資産のリスクの割合を均等にすることで、リスクを軽減させる運用方法である。これは株式や債券、コモディティなど異なる資産の保有株式リスクを揃えるため、各市場のボラティリティ



今週のスケジュール

- ・ 19日 米9月中古住宅販売件数 (23:00)
- ・ 22日 8月全産業活動指数 (13:30)
米9月シカゴ連銀全米活動指数 (21:30)
- ・ 24日 臨時国会召集
米8月FHFA住宅価格指数 (22:00)
/米9月新築住宅販売件数 (23:00) / ページブック
- ・ 25日 2年国債入札
安倍首相訪中 (日程は調整中)
トルコ中銀金融政策決定会合
ECB定例理事会 (ドラギ総裁会見) / 独10月Ifo景況感指数 (17:00) / 米9月耐久財受注 (21:30) / 米9月中古住宅販売仮契約 (23:00)
- ・ 26日 米7-9月期GDP (21:30)

企業の不祥事が後を絶たない。地震・制振用ダンパーの検査で不適切行為が判明したKYBは、不正品すべを取り換える意向だが、保障を含め費用は販売した製品の100以上かかるといわれる。にもかかわらず、なぜ長年にわたり隠蔽されてきたのか。不正品を設置した建物でも震度7程度の地震に耐えられるとされており、コストに配慮して安全性に支障のない数値なら黙認されてきたのかも知れない。当社のためにと不正が正当化されてきたのなら、不祥事の発覚はこれからは続くだらう。

編集後記

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被りたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。